

## まだまだコロナは続きそうです。

一時期鎮静化していたコロナ、東京を中心に広がりつつありますね。ここ沖縄も米軍基地内でクラスター化しており、基地外への拡散が心配です。

最近では、若者の感染が多くて軽症化していますが、受け入れる病院は一般の患者さんを排除して病棟を準備していますので、医療収益が激減しています。

市中のクリニックも昨年と比べて患者数が激減しています。コロナ予防対策で他の感染症が減少した事と患者さんが病医院に行くことを躊躇しているからと思われます。

特に耳鼻科や小児科が一番影響を受けています。病気を治すのが仕事なので、病気がないと仕事にならないジレンマがあります。コロナ禍とどう向き合っただけクリニックを運営していけばよいのか、これから模索しなければなりません。

さて、今回も**本田 健氏の著書「激動時代にあなたの家族と資産を守るためにできる6つのこと」**のまとめです。

**今、世界で起きていることは、感染者の拡大に関係なく、経済活動を元通りにしようという空気です。**米国のマスクをしないトランプ大統領やブラジルの「私たちは皆、いずれは死ぬ」と発言したボルソナロ大統領が先導しています。**主要国では、感染防止より倒産防止への転換が始まっているのです。**

6月1日現在でコロナウィルス関連の倒産数は200件以上です。最も多いのはホテル・旅館が39件、飲食店24件、アパレル・雑貨・靴小売店16件です。

その救済のために各国はお札をどんどん刷っています。米国は3兆ドル(320兆円)、ドイツは8,800億ユーロ(106兆円)、日本は78.7兆円の財政出動額です。今後お金の価値が下が

る「ハイパーインフレ」になると懸念がされます。

そして、今回の給付金はいずれ税金として納めなければならず「コロナウィルス復興金」などの名目で徴収されるでしょう。

不況のカウントダウンはすでに始まっています。米国では4,000万人規模の人が職を失い、飲食店の経営者、その店が入るビルのオーナーが次々と連鎖倒産しています。

次に、あなたの家族、資産を守るために準備の優先順位です。①仕事の内容、やり方、働き方の見直し②お金の準備をする。秋から冬の第2波の襲来を予想して、株や不動産、着なくなった洋服など現金化する。会社を経営しているなら借入をしてでも現金を持っておく。銀行が正常に動いているときに手続きしておく。③引っ越し、セーフハウスづくり。④人間関係の見直し⑤新しい生き方を始める。**どういう仕事をやるのか、どこでやるのか、何をやるのか、じっくりと考えていく必要がある。**⑥長期的な巣ごもりの準備

次に資産別今すぐできること。①お金がほとんどない人：いざという時、誰に頼るか、衣食住を見直す②資産500万円の人：食料(3か月分)と資金(6か月分)を確保しておく③資産1,000万円の人：家族の安全を確保するために引っ越し、働き方、転職を検討する。新たな知識やスキルを習得するためにこれからお金や時間を投資することも大事④資産3,000万円の人：セカンドハウスを借りるか⑤資産1億以上の人：近未来、買い難くなるのは食糧です。将来困るかもしれない人のために買って置く

これからは**家族との関係性が大事**になってきます。大切なことは話し合いです。理想と現実、お互いを理解し合い、これからどうやっていくのか、チャレンジしてみることが大事です。